

2014年度 常磐大学同窓会事業報告

1. 会議の開催
  - 1) 総会
    - 開催日：2014年6月28日（土）14時30分～15時00分
    - 場所：常磐大学Q棟センターホール
    - 出席者：41名
    - 主な議案等
      - 【報告】2013年度事業報告、2013年度決算、入会状況報告、役員選出
      - 【議案】2014年度事業計画、2014年度予算
    - ※ 総会終了後に2013年度常磐大学同窓会課外活動奨励金受給者による報告会を実施した。
  - 2) 懇親会
    - 開催日：2014年6月28日（土）16時00分～17時30分
    - 場所：常磐大学Q棟インターネットカフェ・ラバツア
    - 出席者：47名（課外活動奨励金報告者も含むと67名）
  - 3) 幹事会
    - 実施時期および主な議案等
      - 6月 1日（土）2013年度事業報告、2013年度決算について、役員選出等
      - 11月22日（土）同窓会役員について、課外活動奨励金審査結果報告等
      - 3月28日（土）2015年度事業計画承認、2015年度予算承認等
2. 学生支援事業
  - 1) 学園祭への奨励金（2014年10月）
  - 2) 常磐大学同窓会課外活動奨励金制度の実施（2014年12月）  
【奨励金給付団体】
    - ①「M4（エムフォー）」  
2014年8月にひたちなか市那珂湊地区で開催された「みなとメディアミュージアム」において企画立案や参加アーティストの制作サポートや来場者対応や運営等サポート活動の実施
    - ②TEAM MASA  
東京都（汐留博覧会2014）、山梨県および福岡県で開催された、視覚障害者がさわって鑑賞できる「触覚型展示資料」による「さわれる雷獣三十六景」の展示解説の実施
3. 会員への大学情報の発信
  - 内容：会報「ときわの風」を発行し、会員へ送付
  - 時期：第18・19号合併号（2014年9月30日発行）  
第20号（2015年3月27日発行）
4. 常磐大学同窓会ホームページの維持および管理
  - 内容：異動情報受付等
5. 卒業生の個人情報管理
  - 管理情報：氏名、学籍番号、住所、電話番号、勤務先、ゼミナール、サークル等
  - 時期：随時更新

2014年度 常磐大学同窓会決算書

項目	決算額	予算額	差異額	備	考
会費収入	12,980,000	13,160,000	△180,000	新入会員649名(新卒649名)	
事業収入	47,000	70,000	△23,000	懇親会費(47名)	
雑収入	19,650	100,000	△80,350	預金利息等	
積立金等運用収入	525,922	528,000	△2,078	積立金の運用に伴う利息	
小計	13,572,572	13,858,000	△285,428		
前年度繰越金	現預金 65,494,547	65,494,547	0		
繰越金	積立金等 80,000,000	80,000,000	0	引当金・積立金、定期預金(大和ハウス銀行)	
小計	145,494,547	145,494,547	0		
合計	159,067,119	159,352,547	△285,428		

項目	決算額	予算額	差異額	備	考
人件費支出	0	10,000	△10,000		
消耗品費支出	26,000	149,000	△123,000	印刷用紙等	
交通費支出	16,000	85,000	△69,000	幹事会出席者(学外幹事)等交通費	
慶弔費支出	0	100,000	△100,000		
通信費支出	2,463,246	3,129,000	△665,754	総会案内、会報等郵送料	
印刷費支出	849,841	1,235,000	△385,159	会報、封筒等	
会議費支出	187,287	287,000	△99,713	幹事会、総会等	
渉外費支出	15,000	20,000	△5,000	会報原稿執筆謝礼	
業務委託費支出	290,433	236,000	54,433	発送物袋詰作業等	
雑費支出	2,268	10,000	△7,732	振込手数料等	
支援事業費支出	450,000	2,200,000	△1,750,000	学園祭奨励、学生課外活動奨励金	
小計	4,300,075	7,461,000	△3,160,925		
前年度繰越金	現預金 74,767,044	71,891,547	2,875,497		
繰越金	積立金等 80,000,000	80,000,000	0	引当金・積立金、定期預金(大和ハウス銀行)	
小計	154,767,044	151,891,547	2,875,497		
合計	159,067,119	159,352,547	△285,428		



▲総会にて挨拶する 池田会長

2015年度常磐大学同窓会総会が6月27日(土)に、常磐大学Q棟センターホールで開催されました。総会の開会にあたり、池田正則会長(人間科学部1期卒)より「なかなか総会に人が集まらない状況ですが、常磐大学同窓会も来年には、1期生が卒業して30年が経とうとしています。この度1期生で、支部を立ち上げて総会への参加者を増やそう

2015年度 常磐大学同窓会事業計画

月	事業内容
4	常磐大学同窓会課外活動奨励金(以下、課外活動奨励金)に関する事業 ・課外活動奨励金(以下、課外活動奨励金)募集 ※1 (応募締切：学生プロジェクト奨励金5月末、スポーツ・文化活動奨励金2月末)
5	・幹事会 (前年度決算報告、前年度事業報告)
6	・総会、課外活動奨励金報告会 ・懇親会(6月27日(土)開催)
7	・同窓会会報発送(第21号)発送 ・課外活動奨励金(学生プロジェクト奨励金)選考 ※1
8	・課外活動奨励金(学生プロジェクト奨励金)審査 ※1
9	
10	・学生支援事業(学園祭奨励) ・課外活動奨励金(学生プロジェクト奨励金)授与式
11	・幹事会
12	
1	
2	・同窓会会報(第22号)発送 ・課外活動奨励金(スポーツ・文化活動奨励金)選考 ※1
3	・幹事会 ・課外活動奨励金(スポーツ・文化活動奨励金)審査 ※1 (課外活動奨励金(スポーツ・文化活動奨励金)授与式は2015年度5月に実施)

上記の他、会員の個人情報管理および常磐大学同窓会ホームページ管理を行う。  
(補足)  
1. 課外活動奨励金事業の募集、選考および審査の業務は、常磐大学に委託する。  
2. 同窓会会報に総会の議決内容および報告内容を掲載する。

2015年度 常磐大学同窓会予算書

項目	本年度予算額	前年度予算額	差異額	備	考
会費収入	11,660,000	13,160,000	△1,500,000	2015年度新入会員(新卒580名+既卒3名×20,000円)	
事業収入	70,000	70,000	0	懇親会会費収入(70名×1,000円)	
雑収入	100,000	100,000	0	預金利息等	
積立金等運用収入	528,000	528,000	0		
小計	12,358,000	13,858,000	△1,500,000		
前年度繰越金	現預金 74,767,044	65,494,547	9,272,497		
繰越金	積立金等 80,000,000	80,000,000	0	引当金・積立金、定期預金	
小計	154,767,044	145,494,547	9,272,497		
合計	167,125,044	159,352,547	7,772,497		

項目	本年度予算額	前年度予算額	差異額	備	考
人件費支出	10,000	10,000	0		
消耗品費支出	65,000	149,000	△84,000	印刷用紙、印刷機消耗品、総会関係等	
交通費支出	85,000	85,000	0	幹事、総会教員交通費等	
慶弔費支出	100,000	100,000	0	慶弔関係	
通信費支出	2,473,000	3,129,000	△656,000	会報、総会案内送付等	
印刷費支出	971,000	1,235,000	△264,000	会報、封筒印刷等	
会議費支出	247,000	287,000	△40,000	総会、幹事会等	
渉外費支出	20,000	20,000	0	会報原稿執筆謝礼、取材先土産等	
業務委託費支出	292,000	236,000	56,000	発送物袋詰作業等	
雑費支出	10,000	10,000	0	振込手数料等	
支援事業費支出	2,200,000	2,200,000	0	学生課外活動奨励金、学園祭補助、支部活動補助等	
小計	6,473,000	7,461,000	△988,000		
前年度繰越金	現預金等 80,652,044	71,891,547	8,760,497	現預金、定期預金(1年以内)	
繰越金	積立金等 80,000,000	80,000,000	0	引当金・積立金、定期預金(複数年)	
小計	160,652,044	151,891,547	8,760,497		
合計	167,125,044	159,352,547	7,772,497		

と考えています。皆さんもご協力よろしくお願ひします。」と挨拶がありました。総会では2014年度事業報告・決算報告・入会状況報告および役員選出について報告がなされました。続いて2015年度事業計画および予算について満場一致で可決され、総会は閉会しました。総会終了後、2014年度に常磐

大学同窓会課外活動奨励金制度により奨励金の給付を受けた学生団体(2団体)による、課外活動成果報告会が開催されました。(詳細は2面参照)  
その後、会場をQ棟内インターネットカフェ・ラバツアに移して開催された懇親会では、松本久司副会長(人間科学部10期卒)より「この総会を、会員の皆さんが普段の仕事

2015年度 常磐大学同窓会総会・懇親会開催

から離れて、互いの近況を報告し合う、親睦を深める場所となり、さらにはこの集まりが皆さんの励みとなつて、仕事に一生懸命取り組めるような機会に行きたいと考えています。そのためにも参加者が増えよう努力して同窓会を盛り上げていきたいと考えているので、今後ともご協力をお願いします。」との乾杯の挨拶で開会しました。  
懇親会には会員38名のほか、教員7名、報告を行った学生12名の計57名が参加しました。  
なお、当日の様子は、同窓会ホームページでも紹介していきますので、是非ご確認ください。



富田信穂新学長の主なプロフィール

専門：犯罪学・被害者学・被害者支援。  
慶應義塾大学大学院法学研究科博士課程修了。  
常磐大学人間科学部助教授、教授を経て、2010年9月同学部長。  
2014年4月常磐大学副学長。  
2015年4月より現職。  
日本被害者学会理事、公益社団法人いばらき被害者支援センター理事長などを兼任。



2015年4月より富田信穂新学長が就任しました。

新学長就任のお知らせ

課外活動奨励金を受けた学生の活動報告

常磐大学同窓会課外活動奨励金制度により2014年度に奨励金の給付を受けた2団体の学生による、成果報告会が開催されました。この制度は、常磐大学の発展および社会貢献に寄与できる、またはそれが期待できる学生の課外活動に対して、奨励金を給付し、同窓会活動に対する認知度や理解度の向上を目的としています。

M4 (エムフォー) ~みなとメディアミュージアム共同運営& TOKIWA まちなかラボ実施~

人間科学部コミュニケーション学科 大内真理子さん 他3名



M4は、ひたちなか市ひたちなか海浜鉄道湊線沿線で行われている「みなとメディアミュージアム」というアートイベント活動を他大学と共同運営で行っている団体です。「みなとメディアミュージアム」では夏の長期休暇の間、那珂湊駅周辺でアート作品を展示しています。毎年全国各地から出展者を募集し、多くのアーティストの方に作品を出展していただいているため、多くの一般の方々が展示イベントのために那珂湊を訪れています。M4は、アーティストの方の作品展示のお手伝いを通じて地域の活性化を図るとともに、アーティストの方や地元の方との交流のきっかけを作っています。また、M4はイベント期間中に子供を対象としたワークショップを開催し、ワークショップを通じてさらに多くの方と交流することができました。今回給付いただいた同窓会課外活動奨励金は、イベント開催期間中の交通費として使用しました。奨励金を受けることによって、常磐大学の学生がイベントの準備や開催期間中に那珂湊へ行くことができたため、イベントをより盛り上げることができたと実感しております。ありがとうございました。

TEAM MASA ~触覚型資料「さわれる富嶽三十六景」展示会実施~

コミュニティ振興学部コミュニティ文化学科 青木萌さん 他7名



TEAM MASAは、さわって鑑賞できるミュージアム資料の制作、展示を行っています。私たちは「すべての人の幸せ」というキーワードを掲げて活動しています。

作品はスウェルペーパーと呼ばれる、熱発砲カプセルがサンドイッチ状に挟まれた特殊な紙を使い制作します。この特殊な紙に、元の画像をモノクロ化したデータを、用紙に印刷、加熱することで触覚型資料にすることが出来ます。

2013年度から取り組んでいる葛飾北斎の「富嶽三十六景」を用いた「さわって観る展示」をより多くの人に楽しんでいただくために、2014年度は7つの地域で行った展示会場のうち東京、新潟、福岡において2種類の鑑賞法を実験的により良い展示方法について検証しました。そして、その検証結果を踏まえた集大成として山梨県立博物館で展示会に臨みました。また、2014年度は各会場で学生が場内案内、展示物の解説も行いました。

今回給付いただいた同窓会課外活動奨励金は、交通費を中心に使わせていただきました。県内での展示会を多く開催しましたのでとても助かりました。同窓会の先輩方のおかげで有意義に活動することができました。ありがとうございました。

親子で常磐(親子対談)〜卒業生子女入試のご案内〜



写真右：羽部理恵さん(お母さま)(人間関係学科心理学専攻卒業)  
写真左：真樹さん(心理学科1年)  
真樹さんは、大学のオープンキャンパスなどで高校生に学生目線で大学の魅力をアピールするトキワ・キャンパスアドバイザーとしても活動中です。

お母さまご自身が通った大学に真樹さんが入学した感想は？

(お母さま) 自分が学んだキャンパスで、自分の子どもが学ぶということはうれしかったです。私が目指していた職業に進みたいとのことだったので、後押しをすることができてうれしですね。

真樹さんは、お母さんが通った大学を選択した理由は何ですか？

(真樹さん) 自分が将来の夢であるカウンセラーになるためには心理学を学ばないといけなかったため、人間科学部心理学科を選びました。特に、母が心理学を専攻したからという理由ではなかったのですが、母が常磐大学に通っていた時代から、心理学科にはすごく優秀な先生方が揃っているという話を母から聞いていたので、常磐大学で勉強したいと考えていました。

お母さまの学生時代と比較して、真樹さんの学生生活の様子はどうですか？

(お母さま) 私たちが在学していた時代は人間科学部1学部だけでしたが、ずいぶん学科も増えましたね。私たちが勉強していた一般教養科目も

カリキュラムを見せたい。バラエティ豊かに科目が増えていて、すごく楽しそうでした。私たちの学生時代は「法学」「生理学」といった科目名でしたが、今は科目名が具体的ですごく学びやすいと思います。先日参加させていただいた保護者会の際も、先生のお話を聞いていて、私たちの頃と全く違う分野の心理学も勉強できるのかなと思ひ、よいことだと考えました。

真樹さんは、常磐大学でどういった勉強をしたいですか？

(真樹さん) 心理学の勉強だけでなく、4年間で英語と吸収していきたいと思っています。将来の夢であるカウンセラーの仕事に就けるように、臨床心理士の受験資格を大学院で取得したいので、まずこの4年間で大学院に入っても通用するような学力を身につけていきたいと思っています。

(お母さま) 英語の勉強も国際交流語学学習センターを利用していただければ、英語力が身に付きますね。子どもと入試前に学校見学をさせていただいた際に、素晴らしい施設が整備されているなど思いました。

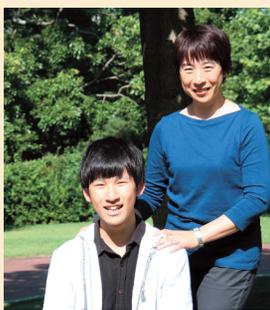
真樹さんの学生生活に期待したいことは何ですか？

(お母さま) 私は吹奏楽団に所属して課外活動をしていましたので、吹奏楽団に入って部活動を充実させてほしいですね。その他の学生生活面のサポートや就職活動のサポートも充実しているようなので、大学に期待しています。

本日は対談ありがとうございました。最後に、お母さまから同窓会会員みなさまへ一言お願いします。

常磐大学では、2015年度から「卒業生子女入試」制度を実施しています。この入試制度は、常磐大学、常磐短期大学、常磐大学高等学校、智学館中等教育学校の卒業生の親族(3親等以内)である方の推薦で出願できるものです。常磐大学の建学の精神や教育理念を深く理解し、常磐大学への入学を強く希望する意欲的な方を募集しています。

(お母さま) 私は大学卒業後も吹奏楽団のOB会であるTOKIWAおんぶの会の活動でキャンパスに来る機会がありました。子どもが常磐大学に進学したいと希望したことで今まで知らなかった母校のカリキュラムを知る機会にもなりました。自分が卒業した学校には、なかなか足を運ぶ機会がないと思いますが、私たちが通っていたころのキャンパスとは全然違うことになっていきますし、同窓会員みなさまにも、ぜひ常磐大学に帰ってきてキャンパスを見たり、学科の内容など当時と比較して見てほしいですね。そして、会員みなさんのお子様にも勧めたいだけなら、と思います。



卒業生子女入試について

常磐大学では、2015年度から「卒業生子女入試」制度を実施しています。この入試制度は、常磐大学、常磐短期大学、常磐大学高等学校、智学館中等教育学校の卒業生の親族(3親等以内)である方の推薦で出願できるものです。常磐大学の建学の精神や教育理念を深く理解し、常磐大学への入学を強く希望する意欲的な方を募集しています。

常磐短期大学創立50周年記念ロゴマーク募集について

母校の併設校である常磐短期大学は、来る2016年に創立50周年を迎えます。このたび、常磐短期大学では、創立50周年を学内外に広報するため「創立50周年記念ロゴマーク」を作製することになりました。同ロゴマークの作製にあたり、卒業生および在学生等からロゴマークのデザイン案を募集することになりましたので、お知らせします。

応募方法等の詳細は、母校のホームページ(<http://www.tokiwa.ac.jp/50th/index.html>)に掲載されている募集要項をご確認ください。常磐大学の卒業生も応募できますので、ぜひ多数ご応募ください。

「とぎわの風」へのご意見を募集しています。

常磐大学同窓会事務局は、会員の皆様に大学の情報、同窓会活動の情報をお届けするため「とぎわの風」を編集・発行しております。しかしながら、会報が会員の皆様のご期待に届けることができているのか、また会員の皆様から会報を通じてどのような情報を求めているのかを知りたいと考えています。

会報に対するご意見・ご要望など、どんなことでも結構です。常磐大学同窓会事務局までメールにてお寄せください。同窓会事務局として、寄せられたご意見・ご要望にお応えできるよう検討していきたいと思ひます。

【送付先】  
常磐大学同窓会事務局 dosokai@tokiwa.ac.jp

\* 編集後記 \*

課外活動奨励金報告会、2グループから発表がありました。M4から紹介された「みなとメディアミュージアム」は、茨城の海浜鉄道湊線を元気に！をテーマに那珂湊駅周辺で例年8月に行われており、今年度で7回目の開催になるそうです。地元の人に協力しているのが分かり、嬉しく思いました。私も是非行きたいと思ひます。

TEAM MASAの「さわって観る富嶽三十六景」は、今までの展示会で通算約15,000名の来場があったそうです。実際に指で触ってみましたが、絵を4分割にして、徐々に完成されていく順番になっていて、下には文字&点字での説明書きもあり、分かりやすかったです。新しい発想で興味深かったです。

自分が学生だった頃より、地域活動に関わっている学生グループが多く頑張っているのが、応援したいです。(M)